

女性が少ない分野の職場見学ワークショップ 【秋田県秋田市】

総事業費	479 千円
交付金額	239 千円

地域の実情と課題

- ・令和3年度秋田市女性活躍推進企業実体調査では、本市の女性管理職の割合は、係長相当職以上で20.8%であった。
- ・秋田市人口ビジョンの「年齢階級別の人口移動の状況」では、15歳から29歳の若年層において大幅な転出超過となっており、地元への就業・就職の展望を描けず、東京圏に進学・就職している現状が示唆されている。

事業の特徴

- ・若い世代を中心に東京圏への転出超過となっている現状を踏まえ、女子中学生・高校生を対象とした職場見学会を開催し、女性が少ない職業分野への関心を高め、進路・職業選択を促す機会とする。
- ・企業紹介だけでなく、実際に働く女性社員等の講話を開催し、「将来地域で働く自分」をイメージすることで、若い世代のキャリア意識と地元就職への関心を高める。

事業の効果

- ・事業目標の参加者数20人に対し、6人と達成率は30%であり、参加者が伸び悩む要因として、夏休み期間であっても、部活動や課外活動などを理由に参加したくても困難な声が寄せられた。
- ・参加者アンケートでは、満足度について、参加者全員（100%）が「大変満足」または「満足」と回答しており、満足度が高い事業とすることができた。
- ・特に、「女性社員の話」が好評であり、「実際に将来働くということについて考えることができて良かった」「実体験を聞くことで自分が働くことのイメージがつきやすかった」などの感想があり、地元企業への興味関心を高めるとともに、将来イメージの形成につなげることができた。

目的・目標

女子中学生・高校生を対象に、女性が少ない職業分野への理解を深めるため、市内企業2社を訪問し、工場や職場内を見学しながら企業紹介を行ったほか、実際に働く女性員から、具体的な業務内容や職業選択をした経緯などについての講話と交流会を行った。

【目標】事業参加者数 20人⇒【実績】6人（△14人）

連携団体

「秋田市男女共生推進会議」

【構成団体】秋田県立大学、秋田商工会議所、秋田人権擁護委員協議会、一般社団法人秋田県助産師会、秋田労働局、秋田県中央男女共同参画センター（指定管理団体－NPO法人いきいきFネット秋田）、あきたF・F推進員、市内事業所ほか

今後の課題

- ・職場見学会の開催は、開催時期や周知方法などより、多くの中高生が参加できるよう手法を検討する必要がある。
- ・女性が固定的な性別役割分担意識にとらわれず、個人の適性・能力に合った進路・職業選択をするには、様々なスタイルで活躍する多様な女性ロールモデルが必要であり、対面の職場見学のみならず、様々なツールや手法を通じて、地域の女性ロールモデルや女性活躍企業の情報提供が今後も必要である。

事業の概要

女性が少ない分野の職場見学ワークショップ

女子中学生・高校生を対象に、女性が少ない職業分野への理解を深めるため、市内企業2社を訪問し、企業紹介や実際に働く女性社員等の講話を開催し、地域で活躍する女性ロールモデルとの交流機会とした。

